



2023年度

藍畑だより

第7号

2023.6.12(月)
発行責任者 上萩琴美

With コロナを実感

6月に入った途端、本校でコロナ2019が猛威を振るい、全校の半分に当たる学年で学級閉鎖の措置をとりました。6色の学年帽が揃う日常を当たり前感じていましたが、3色だけの学校はまさしく色褪せたかのように見え、寂しい数日間を送りました。

しかし、そんな中でも、4年生が登校班長代理を立派に務めたり、2年生が副班長として活躍したり、授業中、しっかり学習し、給食をモリモリ食べる頼もしい子どもたちの姿や日々成長する姿に勇気づけられました。

そして、急な緊急下校等のお願いにも快く対応していただき、常に子どもたちや学校を支えてくださる保護者のみなさまのご協力に、心から感謝申し上げます。

コロナ2019に名称を変更し、第5類に移行したとは言え、やはり「新型コロナウイルス感染症」の感染力は凄まじく、これまでどおり感染対策を怠ってはいけないこと・決してアフターコロナにはなっていないこと・まだまだコロナとの生活は続いていることを実感しました。これからの教育活動再開の際にも、様々な角度から検討して進めてまいります。

【体操発表会の練習】

4月末に始まった練習を重ねるごとに、技が上達していきました。

子どもたちの表情から、日増しに自信がついていく様子が見られ、様々なことに挑戦することの大切さを改めて感じました。



【6年生 租税教室】5月30日(火)

石井町税務課の田幡様を講師にお招きし、税金の種類や使われ方について学習しました。いろいろな施設を、税金が使われているもの・個人のお金で建てられているものに分類したり、税金がどのように私たちの暮らしを支えているのかを学んだりしました。



【新しい先生紹介】

6月12日(月)、清水育子(しみずいくこ)先生が本校に赴任しました。

主に4~6年生の書写や4年生の社会科などをご指導くださいます。

よろしくお願いいたします。



【体操発表会】6月11日(日)

6月6日(火)に計画していた校内発表会は残念ながら実施できず、出場選手にとってはぶっつけ本番となりました。

それでも、子どもたちは練習してきた成果をしっかりと発揮し、堂々と演技を披露してくれました。藍畑小学校・石井町の代表として、本当に頑張りました!



【子どもたちからの贈り物】

毎朝、校門前で立哨していると、子どもたちからの元気な挨拶や笑顔をもらいます。子どもたちの澄んだ瞳や可愛い声でスタートできる生活には、本当に幸せを感じています。

その上、時々思いがけないプレゼントをくれる時があります。例えば、昨年度の1年生(現2年生)からは、朝の立哨やハロウィン・パーティーで渡したキャンディ(作り物)へのお礼の手紙。いろいろな学年の児童からは、タンポポやエノコログサ(ねこじゃらしのような雑草)など、登校中に摘んだ草花。運動場で拾ったイチヨウの葉。そして、シロツメクサで作った指輪。修学旅行中のバースデーカード。満面の笑顔とともに差し出される温かい贈り物は、私の宝物です。



藍畑小教育

□ 学校教育目標

『心豊かで、たくましい子どもの育成』-自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成-

□ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子

「い」 いじめをしない やさしい子

「は」 はげましあって がんばる子

「た」 たくましい子